

観測史上最大の暴風雨が少年・少女たちを襲う。

# 伊勢湾台風物語



©スペース映像

【原作・脚本・監督】 神山征二郎

【声の出演】 小山菜美、戸田恵子 ほか

日本語字幕 & 音声ガイド付き上映

## さかの障害者映像祭

日時 2010.1/30[土] ▶ 31[日] 会場 全国手話研修センター

(コミュニティ嵯峨野) JR嵯峨嵐山駅下車すぐ  
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4



30[土] アニメ映画『伊勢湾台風物語』上映

第1部 ▶ 11:00~13:00  
第2部 ▶ 15:00~17:00

日本語字幕 & 音声ガイド付き

31[日] 聴覚障害者が制作した  
応募作品上映&特別企画  
▶ 10:00~16:00

参加費

2日券 1,000円  
小・中学生は 500円  
1日券 500円  
小・中学生は 250円

お問合せ先 (社福)全国手話研修センター 総務課  
TEL 075-873-2646 FAX 075-873-2647

<主催> 社会福祉法人 全国手話研修センター  
<後援> 財団法人 全日本ろうあ連盟  
<協力> 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構

昭和34年（1959年）9月26日、

名古屋市はいつもと変わらない

平和な朝を迎えていた。

小学6年の津島ひかりも西沢利夫も

楽しみにしていた翌朝の運動会が

台風によって中止に決まり、

午前中で学校が終わった。

家に早く帰ったひかりは

愛犬ブチを連れて散歩に出かけた。

夕方になると、雨は激しくなり

大波が名古屋港にも押し寄せ、

ひかりも前に進めないほどの

暴風雨に吹きつけられた。

午後9時35分、伊勢湾は満潮をむかえ、

高波が防波堤を乗り越え、人家へと流れ込んだ。

利夫の家も水に沈み、

母と妹をかばうものの、利夫も力尽きてしまう。

そしてひかりも波にのまれ流されていった。

しかしその後にはひかりを

必死でおいかけけるブチの姿があったのだ。



<スタッフ>

【監督・原作・脚本】 神山征二郎

【演出】 岩本保雄

【製作】 瀬戸義昭・山田昭男・伊藤叡

【企画】 加藤潤一

【作画監督・キャラクターデザイン】 北崎正浩

【撮影】 藤田正明

【音楽】 針生正男

【美術】 門野真理子

【編集】 尾形治敏、伊藤勇喜子

【録音】 明田川進

【スクリプター】 ヘラルドコーポレーション、神山プロダクション

【制作】 虫プロダクション、未来工業

【製作・配給】 スペース映像

<声の出演>

津島ひかり(小山菜美)

西沢利夫(戸田恵子)

津島猛(戸谷公次)

津島千代(山口奈々)

西沢竜一(堀秀行)

西沢梅子(鈴木富子)

西沢渚(杉山佳寿子)

阿久根忠治(川島千代子)

阿久根忠雄(秋元洋介)

徳三(滝雅也)

今井台長(阪脩)

熊田校長(北村弘一)

五十嵐教頭(矢田耕司)

木村先生(小林通孝)